

平成30年度

さいたま市図書館評価 報告書
(平成29年度事業対象)

平成30年11月

さいたま市立中央図書館

目 次

1	評価の目的と経緯	1
2	評価の方法	2
3	評価の結果	3
4	意見聴取	7
5	さいたま市図書館評価票（平成29年度）	
	【目標】①図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	9
	【目標】②幅広く計画的な資料の収集・保存	10
	【目標】③地域の歴史と文化の保存	11
	【目標】④ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実	12
	【目標】⑤文化事業の開催	13
	【目標】⑥あらゆる世代に向けたサービスの充実	14
	【目標】⑦レファレンスサービスの充実	15
	【目標】⑧地域の課題解決	16
	【目標】⑨生活支援サービスの展開	17
	【目標】⑩バリアフリーサービスの充実	18
	【目標】⑪多文化サービスの充実	19
	【目標】⑫子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	20
	【目標】⑬図書館評価と市民意識の反映	21
	【目標】⑭市民との協働	22
	【目標】⑮関連機関（公共機関・民間機関・NPO）との連携	23
	【目標】⑯地域の特色を生かした運営	24
	【目標】⑰親しみやすい図書館づくり	25
	【目標】⑱職員の資質・能力の向上	26
	【目標】⑲専門的職員の配置	27
	【目標】⑳施設・設備の充実	28
	【目標】㉑持続的で安定した図書館の運営	29
	【目標】㉒危機管理体制の強化	30
	参考資料	
	図書館法・図書館の設置及び運営上の望ましい基準	31
	さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項	32
	さいたま市図書館ビジョン	37

1 評価の目的と経緯

(1) 評価の目的

各年度の図書館サービス、その他図書館の運営状況について、目標及び事業の達成状況の点検・評価を行い、図書館サービスの向上を図るとともに、評価の結果を積極的に公表します。

(2) 評価の経緯

図書館法第7条の3において、「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされています。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」においても、市町村立図書館はサービスの「達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない」とされています。

平成 21 年度	図書館評価について検討を開始
平成 22 年度	平成 21 年度の実績について評価を試行
平成 23 年度	平成 22 年度の実績について評価を実施
平成 24 年度	平成 23 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」を制定 平成 25 年 3 月に策定した「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針のうち 16 項目を平成 25 年度の評価目標として指標及び目標値を設定
平成 25 年度	平成 24 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針のうち 20 項目を平成 26 年度の評価目標として指標及び目標値を設定
平成 26 年度	平成 25 年度の実績について評価を実施 「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針を平成 27 年度の評価目標として、指標及び目標値を設定

平成 27 年度～29 年度

各年度とも前年度の実績について評価を実施
「さいたま市図書館ビジョン」の 22 の基本方針を翌
年度の評価目標として、指標及び目標値を設定

平成 30 年度

平成 29 年度の実績について評価を実施
「さいたま市図書館ビジョン」に基づく平成 31 年度
の取組について評価の指標及び目標値を検討中

2 評価の方法

「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」に基づき、毎年度、図書館の運営状況について評価を行います。

さいたま市図書館では、平成 25 年 3 月に「さいたま市図書館ビジョン」（本報告書 p 37～参照）を策定し、地域の知の拠点としての役割を果たしていくため、4 つの目標と 22 の基本方針を定めました。評価にあたっては、この基本方針を目標に設定し、目標ごとに指標及び目標値を定め、達成状況について評価を行います。

評価の結果は、ホームページ等を活用して市民に公表します。また、この結果に基づき図書館運営の改善に努めます。

(1) 評価の流れ

評価に用いる指標を設定



各指標の目標値を設定



(事業実施)



目標値と照らして、指標となった取組の達成状況により評価



評価結果の報告と公表

(2) 指標・目標値の設定

平成 29 年度の事業を対象とする評価は「さいたま市図書館ビジョン

に基づく取組内容（平成 29 年度）」により、一部の重複を含み 57 の指標と目標値を設定しています。

(3) 評価基準

評価を行うに当たり、各取組を明確に評価できるよう、以下の評価基準を定めています。

ア 指標の評価基準

指標の評価は、指標ごとに設定した目標値に対する事業の達成状況を目標達成率として、a～dの4段階で評価するものです。

また、a～dの各段階に対応した評点を与えます。

指標別評価	評価基準	目標達成率	評点
a	目標値を達成できた	目標値の 100%以上	3
b	目標値をほぼ達成できた	目標値の 80%以上 100%未満	2
c	目標値をあまり達成できなかった	目標値の 50%以上 80%未満	1
d	目標値を達成できなかった	目標値の 50%未満	0

イ 目標の評価基準

各目標に設定された指標の評点の平均点により、A～Dの4段階で総合評価を行います。

総合評価	評価基準	評点の平均
A	目標を達成できた	2.7 以上
B	目標をほぼ達成できた	2.0 以上 2.7 未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0 以上 2.0 未満
D	目標を達成できなかった	1.0 未満

3 評価の結果

(1) 評価結果の一覧

平成 29 年度の評価結果は、次の表のとおりです。

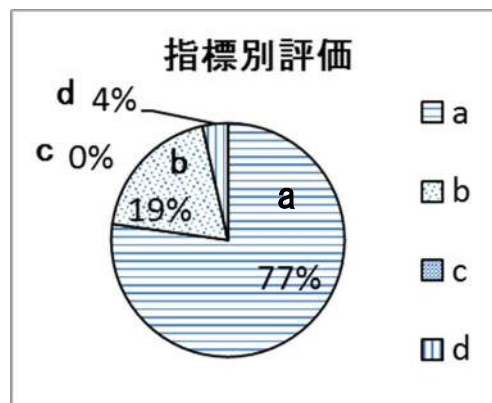
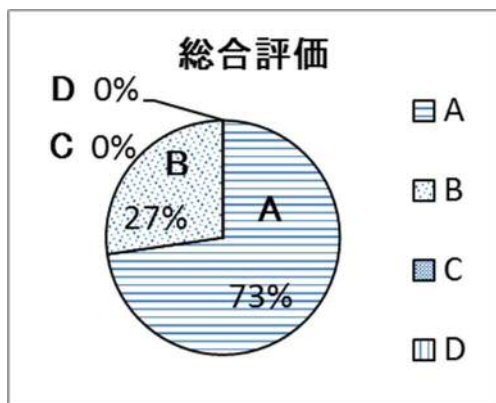
平成29年度図書館評価一覧

目 標		評価	指 標
知的 好奇心に 応える 図書館	①	B	新規登録者数=b 貸出総数=a 来館者数=a 貸出利用人数=b 市民一人当たり貸出数=b メールマガジン配信件数=b パブリシティ件数=a
	②	B	資料回転率=a 雑誌タイトル数=b 新聞タイトル数=b 所蔵タイトル数(図書)=a 市民一人当たりの資料数=b
	③	A	地域・行政資料の蔵書数=a デジタル化した地域資料のインターネット公開=a
	④	B	ホームページコンテンツの充実=a インターネット延利用人数=b 自動貸出機の整備=a
	⑤	A	講座等の実施回数=a 映画会の開催回数=a 展示会の開催回数=a
生きる 力を支 える 図書館	⑥	A	テーマ資料展示の実施回数=a 各世代向けの本の紹介資料作成=a
	⑦	A	レファレンス受付件数=a レファレンス事例の公開件数(年間)=a 職員レファレンス研修の開催回数=a パスファインダー(調べ方案内)作成数=b
	⑧	A	町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題 に関わる資料の市民への提供=a 市の各所管からの業務に対する問合せ件数=a
	⑨	A	日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供へ の取組=a
	⑩	B	音訳資料・点訳資料の所蔵数=b 対面朗読回数=a 宅配サービスの貸出数=a
	⑪	A	外国語資料の受入点数=a 多文化サービスに関わる展示=a
	⑫	B	小学生の不読者の割合=d 中学生の不読者の割合=d 高校生の不読者の割合=a 子ども向け行事開催数=a 読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施=a 子ども向けの資料案内の作成=a 学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数=a
市民 ととも に 歩む 図書 館	⑬	A	図書館評価の実施と公表=a 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の実 施と公表=a
	⑭	B	ボランティアとの協働事業数=b ボランティアとの協働事業の延実施回数=a
	⑮	A	連携事業の連携先機関数=a 職場体験の受入件数=a
	⑯	A	地域の特色を生かした取組=a
誰 もが 安心 して 図書 館	⑰	A	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」におけ る満足度=a
	⑱	A	組織内研修の実施回数=a 派遣研修の件数=a
	⑲	A	専門性の向上につながる研修の受講や講師等として の派遣=a 専門性を生かした適切な資料の提供や紹介=a
	⑳	A	施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進 =a
	㉑	A	業務マニュアルの整備・見直し=a 財源確保や経費節減につながる取組=a
	㉒	A	職員の危機管理意識を高める取組=a

評価基準別にみると、以下のとおりとなります。

評価基準	A	B	C	D	合計
総合評価	16	6	0	0	22

評価基準	a	b	c	d	合計
指標別評価	44	11	0	2	57



(2) 評価

ア 平成 29 年度さいたま市図書館の状況

- ・東浦和図書館 平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 中規模修繕のため休館
- ・岩槻図書館 平成 29 年 6 月 16 日～平成 30 年 3 月 31 日 大規模修繕のため休館
- ・北浦和図書館 平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 19 日 中規模修繕のため休館
- ・大宮西部図書館三橋分館 平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 中規模修繕のため休館
- ・電子書籍サービス 平成 29 年度中に 3,000 タイトルを追加。
- ・ツイッターによる情報発信 平成 29 年 11 月から開始。
- ・記念事業の実施 中央図書館 10 周年、東浦和図書館 20 周年、大宮西部図書館 30 周年の記念事業を実施。

イ 評価の説明

目標（目標値）を「達成できた」と「ほぼ達成できた」を合わせて、総合評価全体では 100%、指標別評価全体では 96%の達成状況となりました。

「さいたま市図書館ビジョン」で掲げる 4 つの目標ごとに達成状

況をみると、「知的好奇心に応える図書館」では、総合評価でAが2つ、Bが3つとなりました。

4図書館で長期の臨時休館を行ったため、貸出総数や利用人数等の指標は前年比で減少しています。あらかじめ臨時休館による減少を見込んで目標値を設定しましたが、その中でも、【目標】①の「新規登録者数」「貸出利用人数」「市民一人当たり貸出数」については、目標値に届きませんでした。一方で「貸出総数」や「来館者数」については、休館した図書館で臨時窓口を週6日実施するなどの努力をした結果、目標を上回りました。

また、【目標】⑤の行事についても、休館中であっても、館外に会場を確保して実施した結果、すべての指標で目標を達成しており、さらに中央図書館、東浦和図書館、大宮西部図書館では周年記念事業を行いました。他には【目標】③の地域の歴史と文化の保存で、2つの指標とも目標を達成することができました。

「生きる力を支える図書館」では、総合評価でAが5つ、Bが2つとなりました。【目標】⑫の指標「小学生の不読者の割合」「中学生の不読者の割合」は、目標値に及びませんでした。一方で、【目標】⑧の指標「市の各所管からの業務に対する問合せ件数」は目標値を大きく上回り、また、【目標】⑪の指標である「外国語資料の受入点数」については、各館で収集に力を入れた結果、目標値を大幅に上回り、総合評価でもAになりました。

「市民とともに歩む図書館」では、Aが3つ、Bが1つとなりました。【目標】⑭の市民との協働、【目標】⑮の関連機関との連携における指標については、概ね目標を達成しました。また、【目標】⑬図書館評価と市民意識の反映、【目標】⑯地域の特色を生かした運営の実施目標についても着実に取り組みました。

「誰もが安心して使える図書館」は、6つの目標すべてがAとなりました。【目標】⑰の指標「『さいたま市図書館の利用に関するアンケート』における満足度」では、昨年度を上回る高い評価をいただきました。また、【目標】⑱では、2つの指標とも目標値および前年度の実績を上回ることができました。特に、「組織内研修の実施回数」については、各館で様々な実務研修を実施したことや市としてOJTを推進したこと等により、大幅に増加しました。

4 意見聴取

「さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項」第4条に基づき、平成30年度第1回図書館協議会（7月30日開催）において、評価票（平成29年度）の報告及び意見聴取を行いました。8月27日までの意見聴取期間を含めて、協議会委員より寄せられた意見は次のとおりです。

(1) 知的好奇心に応える図書館

ア【目標】① 図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化

- ・図書館ごとに目標値の割り当てをしたほうが、目標を達成しやすいと思う。
- ・メールマガジン配信件数の説明がわかりにくい。

イ【目標】③ 地域の歴史と文化の保存

- ・「地域・行政資料の蔵書数」では、年間に何点増やし合計何点にする、という指標の立て方が通常だと思う。

(2) 生きる力を支える図書館

ア【目標】⑥ あらゆる世代に向けたサービスの充実

- ・高齢化社会の中で、シニア・シルバーコーナーのような形で、その年齢層の関心があるものを1か所に配架すると良い。
- ・『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト～ちしき絵本編～』の刊行はとても参考になる。
- ・『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト～ちしき絵本編～』は、要請があれば配るのではなく、もっと積極的に配布してほしい。

イ【目標】⑩ バリアフリーサービスの充実

- ・「宅配サービスの貸出」といったサービスがあることを、利用資格のある人に対してアピールすることが必要だと思う。
- ・来館が難しい人への案内パンフレットが図書館にしかないのは不便ではないか。
- ・バリアフリーの音訳資料の蔵書数についても、目標の立て方で今年何点蔵書を増やそうという指標にするべきではないか。
- ・音訳資料・点訳資料の蔵書数だが、作品によって時間数の差が大きいので、点数だけでは現場の労力が見えてこない。

ウ【目標】⑪ 多文化サービスの充実

- ・「外国語資料の受入点数」の受入とは、具体的にはどういうことか。

エ【目標】⑫ 子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携

- ・不読率の指標は、図書館の努力だけで目標を達成できる問題ではないと思う。これは指標としてふさわしいのか。

(3) 市民とともに歩む図書館

ア【目標】⑭ 市民との協働

- ・ボランティアとの協働事業の中に、「高齢者向けの朗読会・お話し会」をぜひ入れてほしい。
- ・桜図書館の大人向けおはなし会は、どのようなボランティア団体が行っているのか。

イ【目標】⑯ 地域の特色を生かした運営

- ・岩槻図書館では、岩槻まちかど雑めぐりに合わせて館内につるし雛を飾っていて楽しい。
- ・他館でもそのような取組があれば面白いし、ボランティアの励みにもなる。

(4) 誰もが安心して使える図書館

ア【目標】⑰ 親しみやすい図書館づくり

- ・アンケート調査の分析を年齢別にクロス集計して、その結果を図書館サービスに反映すれば、よりきめ細かなサービスが提供できるのではないか。

イ【目標】⑱ 専門的職員の配置

- ・専門性の向上につながる研修の受講や講師としての派遣は、実際何件あったのか。「実施した」という事実だけでAという評価をするのは、果たして妥当なのか。

ウ【目標】⑳ 施設・設備の充実

- ・今の若い人たちに、図書館が楽しかったというイメージを持ってもらわないと、若い人を取り込むことができないと思う。

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】①	図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進のために、報道機関への資料提供を有効的に活用しPRに努めます。 ・ホームページやメールマガジン等を活用し、図書館サービスについて情報を発信します。 ・図書館を利用したことのない人々に対するPR手段を検討します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
新規登録者数	32,100人	28,656人	b
貸出総数	9,393,000点	9,487,797点	a
来館者数	6,412,000人	6,431,257人	a
貸出利用人数	2,674,000人	2,561,993人	b
市民一人当たり貸出数	7.4点以上	7.3点	b
メールマガジン配信件数	20,100件	17,411件	b
パブリシティ件数	40件	57件	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「新規登録者数」は、目標値を下回りました。修繕工事に伴う4図書館の臨時休館により減少することは想定していましたが、目標値には届きませんでした。「貸出総数」と「来館者数」は、3図書館で週6日臨時窓口を開設したこともあり、目標値を上回ることができました。「貸出利用人数」は、臨時休館の影響がより大きかったためか、目標は達成できませんでした。</p> <p>貸出総数を人口で割った「市民一人当たりの貸出数」は、わずかに目標値に届きませんでした。</p> <p>「メールマガジン配信数」は、新規の登録が伸びず、目標値を下回りました。</p> <p>「パブリシティ件数」は、各図書館が積極的に情報提供を行い、それぞれの活動をPRしたことにより、目標値を大きく上回りました。また、平成29年11月1日から、より広く多くの方がさいたま市図書館の情報に触れることができるように、ツイッターでの情報発信を開始しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】②	幅広く計画的な資料の収集・保存	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに応えるため、計画的に資料を収集・保存し、幅広い蔵書を整備、維持するとともに選定方法の検討を行います。 ・資料を有効活用するため、分担保存の現況調査を行います。 ・電子書籍を充実させ、利用の促進を図ります。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
資料回転率	2.54点	2.58点	a
雑誌タイトル数	869タイトル	839タイトル	b
新聞タイトル数	125タイトル	119タイトル	b
所蔵タイトル数（図書）	1,111,000タイトル	1,123,336タイトル	a
市民一人当たりの資料数	2.9点	2.8点	b

<p>【評価の説明】</p> <p>資料が平均何回貸し出されたかを示す「資料回転率」は、目標値を上回りました。平成29年度は平成28年度と比較して0.2点悪化していますが、修繕工事に伴う長期の臨時休館を行った館があったことにより、貸出点数が減少したためです。</p> <p>「雑誌タイトル数」と「新聞タイトル数」は、ともに目標値を下回り、平成28年度でも減少しました。主に雑誌、新聞の廃刊によるものです。</p> <p>「所蔵タイトル数（図書）」は目標値を上回りましたが、「市民一人当たりの資料数」は目標値を下回りました。</p> <p>電子書籍は平成28年3月から提供を始め、資料数は平成29年度末までに10,423点（地域資料99点）となりました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】③	地域の歴史と文化の保存	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館や県内市町村立図書館と連携し、地域資料及び行政資料を積極的に収集・保存し、提供します。 ・デジタル化する資料を選定し、著作権処理を経てデジタル化した資料をインターネットで公開します。 ・アーカイブズセンターや関連部署が推進している、歴史・文化資源アーカイブ化事業と連携します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
地域・行政資料の蔵書数	145,300点	146,794点	a
デジタル化した地域資料のインターネット公開	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「地域・行政資料の蔵書数」は目標を達成し、平成28年度より約1,500点増やすことができました。</p> <p>「デジタル化した地域資料のインターネット公開」については、平成29年度は地域資料から35点を選び、延3,409頁のデジタル化を行いました。また「デジタル化した地域資料のインターネット公開」も3年目になり、公開件数も合計で99点になりました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】④	ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者自身が迅速に貸出手続を行えるよう、自動貸出機を新たに2館に導入します。 ・来館しなくても利用できるサービスである電子書籍やデータベース等の利用促進を図ります。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
ホームページコンテンツの充実	実施	実施	a
インターネット延利用人数	126,900人	123,028人	b
自動貸出機の整備	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「ホームページコンテンツの充実」については、行事やパブリシティで公表した事業のほか、桜図書館で配信提供を開始した「歴史的音源」（国立国会図書館配信）の紹介などを掲載しました。また、目標①でも取り上げたツイッターでの情報発信についても、ホームページでもお知らせを掲載しました。</p> <p>各図書館のインターネット閲覧端末を利用した人の人数を示す「インターネット延利用人数」は、目標値に達しませんでした。家庭・職場でのインターネット環境の整備やスマートフォンの普及により、図書館内における必要性が減少してきたことが一因と思われます。</p> <p>「自動貸出機の整備」では、2館で自動貸出機を導入し、利用者の利便性を高めました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑤	文化事業の開催	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化活動・読書活動を支援するため、様々な事業を開催します。また、アンケート等を実施し、ニーズを把握するとともに、市民のアイデアを生かした事業を企画・開催します。 ・中央図書館10周年、東浦和20周年、大宮西部30周年の開館を記念した事業を行います。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
講座等の実施回数	103回	131回	a
映画会の開催回数	87回	114回	a
展示会の開催回数	20回	34回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「講座等の実施回数」はビジネス支援講座の回数が増加したことにより、目標値を大きく上回りました。</p> <p>「映画会の開催回数」は、平成28年度実績より9回増加し、目標値を達成しました。</p> <p>「展示会の開催回数」は、関係機関との連携事業による展示や交換展示を行い、目標値を達成しました。</p> <p>また、中央図書館10周年、東浦和図書館20周年、大宮西部図書館30周年を記念をし、それぞれの館で講座や展示などの記念事業を行いました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑥	あらゆる世代に向けたサービスの充実	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を制度化し、テーマ資料展示の内容と実施回数を充実をさせるとともに、読書に関する催し物等を実施し、本に親しむ機会を提供します。 ・乳幼児から高齢者まで、本を通して人々が交流する機会を提供し、5館に拡大します。 ・あらゆる世代・対象に向けたサービスとして、子どもへの読み聞かせリストを作成・配布します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
テーマ資料展示の実施回数	763回	824回	a
各世代向けの本の紹介資料作成	102点	105点	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「テーマ資料展示の実施回数」と「各世代向け本の紹介資料作成」は、ともに目標値を上回りました。特に、テーマ資料展示においては、新たに資料展示研修を実施し、内容の充実を図りました。</p> <p>「各世代向けの本の紹介資料作成」については、各拠点館で様々な紹介資料を作成しています。大宮図書館では「リブサポ2017参加した中高生のオススメ本」や「あかちゃんは絵本がだいすき！～あかちゃんおはなし会で紹介した絵本～」等を作成しました。また各館の児童担当職員が協力して「続ボランティア向け読み聞かせブックリスト～ちしき絵本編～」を作成し、全館で配布しました。成人対象としては、テーマ資料展示の中で本の紹介資料（ブックリスト）『健康寿命を考える』（岩槻東部図書館）等を作成しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑦	レファレンスサービスの充実	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館や公立図書館、大学図書館、専門機関と連携し、相互貸借や様々なレファレンスや高度な調査・相談に対応するとともに、課題を解決する手がかりになるよう、レファレンス事例を登録し、公開します。 ・国立国会図書館の「歴史的音源」サービスの導入のため、環境を整備し申請を行います。 ・各館でパスファインダーやブックリストを作成して情報を共有するとともに、ホームページに掲載し、随時更新していきます。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
レファレンス受付件数	101,000件	123,197件	a
レファレンス事例の公開件数（年間）	154件	154件	a
職員レファレンス研修の開催回数	10回	18回	a
パスファインダー（調べ案内）作成数	12タイトル	11タイトル	b

<p>【評価の説明】</p> <p>「職員レファレンス研修の開催回数」については、中央図書館主催の研修の他、各図書館でも実情に応じて研修を実施し、目標値を超えました。「レファレンス受付件数」についても目標値を超えています。</p> <p>「レファレンス事例の公開件数（年間）」と「パスファインダー（調べ案内）作成数」は、概ね目標を達成しており、研修も実施して内容の充実を図りました。なお、レファレンスサービスの更なる充実のために、歴史的音源サービスを1館で導入しました。</p>

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑧	地域の課題解決	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画や地域の産業等、地域の特性により必要とされる資料を収集し、提供します。 ・行政事務・業務に必要とされる資料や情報を提供する行政支援サービスを行うとともに、周知方法を検討します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題に関わる資料の市民への提供	実施	実施	a
市の各所管からの業務に対する問い合わせ件数	21件	42件	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題に関わる資料の市民への提供」については、岩槻東部図書館で「人口減少時代のまちづくりを考える」をテーマに一般書の展示を行うなど、地域の状況に合わせたテーマでの特集をすることで、課題に係る資料提供の一端を担っています。</p> <p>「市の各所管からの業務に対する問い合わせ件数」は、目標を上回る結果となり、前年度比でも7件増加しています。問い合わせ件数の内訳は、貸出が20件、複写が16件、レファレンスが6件でした。行政支援サービスとしてICTによる庁内掲示板を活用したPRを行ったことも一因と考えられます。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑨	生活支援サービスの展開	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で様々な課題に関するテーマ資料展示を実施し、ブックリストの作成・配布を行うとともに、ホームページに展示情報を掲載します。 ・ビジネス、法律、医療、健康、福祉及び子育てに関する情報の提供等、市民の暮らしに直接関わる分野の情報提供に努め、それぞれの分野の専門機関との連携・協働を行います。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供への取組	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供への取り組み」としては、ビジネス支援として中央図書館で創業に関する相談会を延37回行い、98名の参加がありました。また、創業に関する講演会を延14回行い、248名の参加がありました。</p> <p>法律分野では遺産相続に関する講座を行いました。医療、健康分野ではがん、メンタルヘルス、インフルエンザ、食の安全等の展示を行いました。</p> <p>日常生活の中で様々な課題に関するテーマ資料展示では、たとえば、岩槻駅東口図書館では「認知症知る支える」を実施し、ブックリストを作成・配布するとともに、ホームページに掲載しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑩	バリアフリーサービスの充実	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用に障害がある方へ配慮した、資料や機器・機材の整備充実に努めます。 ・大活字本や字幕入り・手話入りの映像資料等の所蔵リストや利用に関する情報を、障害のある方にも利用しやすいようにホームページ等で提供します。 ・関係機関・団体と連携し、録音図書や点字図書・点訳絵本の作製・貸出、対面朗読等を実施します。 ・バリアフリーサービスに関する研修・講座を企画・開催するとともに外部の研修にも参加するなどして、資質・能力の向上を図ります。 ・宅配サービスの充実のため、来館が困難な方の利用のニーズや他自治体の事例を調査します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
音訳資料・点訳資料の所蔵数	3,290点	3,165点	b
対面朗読回数	169回	242回	a
宅配サービスの貸出数	406点	584点	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「音訳資料・点訳資料の所蔵数」は、目標値には届きませんでした。平成28年度の所蔵数2,986点より179点増加しました。</p> <p>「対面朗読回数」は、目標値を上回りました。修繕工事のため休館の間、実施館の変更を希望する利用者に柔軟に対応したことも、目標値を上回った一因と考えられます。</p> <p>「宅配サービスの貸出数」は、登録者数が増加したことにより、目標値を上回りました。また、宅配サービスの更なる充実を図るため、ワーキンググループを設置して事例研究を行っています。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑪	多文化サービスの充実	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、市内在留外国人や訪日外国人のニーズを考慮した外国語資料の収集・提供に努めます。 ・ 外国語絵本等の展示や、多言語でのおはなし会等、在留外国人・ボランティアや関連機関と連携・協働した事業を実施するとともに、市民が様々な言語にふれる機会を拡大します。 ・ カウンター周辺のサイン・案内表示を、日本語の漢字ひらがな併記と多言語で表記し、日本語を母語としない方々にもわかりやすい表示にします。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
外国語資料の受入点数	778点	1,231点	a
多文化サービスに関わる展示	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「外国語資料の受入点数」については、目標値を大幅に上回りました。各館で外国語資料の収集に努めた結果、平成28年度より受入点数が増加しました。</p> <p>「多文化サービスに関わる展示」は、外国語絵本等の展示を10館で行い、市民が様々な言語にふれる機会を提供しました。多言語でのおはなし会は、「マーティンさんのバイリンガルおはなし会」を中央図書館で開催した他、5館で実施しました。</p> <p>また、各館のカウンター周辺の案内表示を日本語、英語、中国語、ハングルで表記しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑫	子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、各図書館で子どもが読書に親しめる環境づくりを進め、「不読者」の割合を減らす取組を行います。 ・中高生を対象にした図書館ボランティア体験プログラムやイベント・展示の実施を拡大します。 ・読み聞かせボランティアを対象に、ブックリストの作成やスキルアップ講座の開催等の支援を行います。 ・保育施設や学校を対象に、おはなし会や図書館オリエンテーション、移動図書館利用体験を実施するなど連携事業を促進します。 ・「子どもといっしょに読書タイム」を提唱し、家庭での読書の大切さを伝える講座や展示、イベントを実施します。 ・ICTを活用し、学校図書館と情報を共有するとともに、学校図書館支援センターを中心に、教科関連図書の収集・貸出・レファレンス・情報提供を促進します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
小学生の不読者の割合	2%以下	4.4%	d
中学生の不読者の割合	5%以下	12.8%	d
高校生の不読者の割合	38.1%以下	36.7%	a
子ども向け行事開催数	1,150回	1,367回	a
読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施	10回	16回	a
子ども向けの資料案内の作成	36回	47回	a
学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数	336回	423回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>調査対象期間の1か月間に本を1冊も読まない、いわゆる「不読者」の割合は、小学校、中学校ともに、目標値に及ばない結果となりました。</p> <p>平成28年度の読書調査から調査方法と時期の見直しをしました。調査方法については、全校調査になったことで、児童生徒の実態に近い数字が把握できるようになりましたが、一方で、調査時期については1月になったため、夏休みや秋の読書週間の時期と比べ、年末年始や進学関係等の諸事情により、児童生徒が読書に意識を向けにくい時期にあることから、特に中学生では不読率が高い状況にあると考えられます。しかしながら、高校生については目標を上回ることができました。</p> <p>「子ども向け行事の開催数」は目標値を上回ることができました。これは従来からの「おはなし会」「あかちゃんおはなし会」「工作教室」等に加え、北浦和図書館の「四時半のおはなし会」や桜図書館の「オランダ語であそぼ！ブルーナおじさんの国のおはなし会」等、各館で新たな企画での行事を開催したことによるものです。</p> <p>「読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施」についても「絵本読み聞かせボランティア基礎講座」等を開催するなど読書環境を支える人材を育成しました。</p> <p>「学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数」についても目標値を上回っており、学校・保育園との連携が進んでいる結果であると言えます。</p>

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑬	図書館評価と市民意識の反映	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の運営状況及びサービスについて、図書館ビジョンに基づいた指標により評価し、その結果を市民に公表します。 ・図書館サービスの充実・向上を図るため、図書館の利用に関するアンケートを実施し、結果は公表して意見を運営に反映させます。 ・図書館協議会を開催して市民の意見を聴き、図書館サービスを向上させます。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
図書館評価の実施と公表	実施	実施	a
「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の実施と公表	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「図書館評価の実施と公表」については、平成28年度事業を評価の対象とし、図書館協議会の意見を踏まえて報告書としてまとめ、公表しました。</p> <p>「『さいたま市図書館の利用に関するアンケート』の実施と公表」については、平成29年9月14日から9月24日までの間、休館中の北浦和図書館、東浦和図書館、三橋分館、岩槻図書館を除く計21館で実施しました。4,138件の回答があり、調査結果は、平成30年1月11日から2月12日まで、アンケートを実施した21館で館内に掲示したほか、ホームページに掲載し公表しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑭	市民との協働	【総合評価】	B
<p>【取組内容】</p> <p>・図書館で活動するボランティアを支援するとともに、ボランティア・地域団体と連携した事業を実施します。また、地域で開催される催し物等に積極的に参加します。</p>			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
ボランティアとの協働事業数	106事業	100事業	b
ボランティアとの協働事業の延実施回数	603回	681回	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「ボランティアとの協働事業数」は、目標値を下回りました。前年度比でも、25事業の減少となっています。また、「ボランティアとの協働事業の延実施回数」は、目標値を上回りましたが、前年度比では、79回の減少となっています。2つの指標が前年度比で減少しているのは、修繕工事により長期の臨時休館をした4館の影響によるものです。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑮	関連機関（公共機関・民間機関・NPO）との連携	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機関や文化・福祉施設、民間機関・NPOなど、様々な機関との連携事業を実施します。 ・中学生、高校生、大学生、教員等の職場体験・図書館実習を積極的に受け入れます。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
連携事業の連携先機関数	38機関	42機関	a
職場体験の受入件数	74件	75件	a

<p>【評価の説明】</p> <p>連携事業は、所蔵する資料等を交換して行う交換展示を実施した宇都宮市立東図書館の他、さいたま市ゆかりの石井桃子の関連展示に際して石井桃子の会と連携するなど新たな事業を実施しました。</p> <p>一方、浦和レッズ、大宮アルディージャをはじめ、美術館や博物館、公民館、コミュニティーセンター、学校などの各種機関との連携も継続して実施し、「連携事業の連携先機関数」は目標値を上回りました。</p> <p>職場体験は、未来（みら）くるワーク（市立中学校の生徒による職場体験）受入れのほか、一日図書館員体験、さいたま・ライブラリー・サポーターズ、教員の実習などの受入れにより、目標値を上回りました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑯	地域の特色を生かした運営	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー、鉄道、盆栽、人形等の地域の歴史・特色に関連した資料の収集・保存を行うため、書架レイアウト等の状況調査を実施します。 ・地域の歴史・特色に関連した資料のブックリスト等を作成・配布し、情報提供を行います。 ・展示コーナーの設置、イベント開催などをJリーグクラブチームとの連携・協働・協力により行います。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
地域の特色を生かした取組	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>地域の特色に関連した資料の紹介のため、大宮西部図書館の『Train Library』、与野図書館の『バラのまちだより』、東浦和図書館の『We read REDS！東浦和図書館サッカーコーナー通信』などのブックリストを作成・配布しました。</p> <p>また、大宮図書館では、大宮アルディージャとの連携事業に合わせた資料展示を行い、東浦和図書館では、浦和レッズの試合開催日に埼玉スタジアム2002で出張展示ブースの開設を行いました。</p> <p>岩槻駅東口図書館と岩槻東部図書館では、「岩槻まちかど雑めぐり」に合わせ、館内につるし雑を飾るとともに関連資料の展示を行いました。</p>

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑰	親しみやすい図書館づくり	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への挨拶や、わかりやすく丁寧な対応で、明るく親しみやすい窓口づくりに努めます。 ・接遇研修を実施するとともに接遇に関する外部研修にも参加します。 ・図書館の利用に関するアンケートを実施し、誰もが気持ちよく利用できる環境づくりに役立てます。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度	「満足」と「やや満足」で 87%	「満足」と「やや満足」で 89.9%	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」で、施設や予約のサービス、職員の対応など5つの項目において「満足・やや満足・やや不満・不満」の4つの選択肢から回答を得た結果、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、目標値を超える結果となりました。</p> <p>なお、5つの項目のうち「職員の対応や説明」については、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が97.0%となり、ほかの項目と比べて高い評価となっています。</p>

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑱	職員の資質・能力の向上	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や情報を的確に提供する技術を高めるため、組織内で計画的に研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。 ・他局等で行なわれる研修や、国や県等の外部組織で主催される研修に積極的に職員を派遣します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
組織内研修の実施回数	65回	192回	a
派遣研修の件数	120件	123件	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「組織内研修の実施回数」及び「派遣研修の件数」は、目標値、前年度の実績ともに上回りました。これは中央図書館資料サービス課が各拠点館の職員を対象に「レファレンス研修」「パスファインダー研修」等の様々な実務研修を実施したことと、市としてOJT計画を推進したこともあり、各拠点館で「おはなし会研修」「コンプライアンス研修」「書架メンテナンス研修」「移動図書館視察研修」等の独自の課内研修を実施したことによるものです。</p> <p>また、派遣研修については、埼玉県図書館協会主催の「児童サービス研修会」や「地域資料研修会」等の専門的業務に特化した研修や、さいたま市主催の市職員を対象とした「危機管理研修」や「人権問題研修」等、市の職員としての資質・能力を高めるための多くの研修に派遣しました。</p>

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑱	専門的職員の配置	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員は専門性を生かし、資料・情報の提供及び紹介等を通じて、市民の高度で多様な要求に適切に応えます。 ・専門性の向上につながる研修を受講するとともに、学校の授業や公民館・コミュニティ施設等において講師等を務めます。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
専門性の向上につながる研修の受講や講師等としての派遣	実施	実施	a
専門性を生かした適切な資料の提供や紹介	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「専門性の向上につながる研修の受講や講師等としての派遣」としては、受講については、「児童図書館員養成専門講座」（日本図書館協会主催）、「参考調査研修会」（埼玉県図書館協会主催）、「ビジネスライブラリアン講習会」（ビジネス支援図書館推進協議会主催）等専門的知識を高める研修に参加しました。派遣については、「図書館新任職員研修会」「参考調査研修会」「児童サービス研修会」（いずれも埼玉県図書館協会主催）等に講師を派遣したほか、小学校の読み聞かせボランティアに向けて、読み継がれている絵本の紹介や実技指導を行いました。そのほか、公民館等で開催される子育て中の保護者に向けた講座で、絵本の読み聞かせについてアドバイスをを行うなどしました。</p> <p>「専門性を生かした適切な資料提供と紹介の実施」については、様々なテーマ資料展示を実施するとともに、ブックリストを作成し配布しました。また、中央図書館で実施した「自殺対策普及啓発事業」等の他機関と連携した展示会においても、理解の助けとなるような関連図書を設置しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑳	施設・設備の充実	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、図書館施設の改修工事を実施します。 ・施設・設備のバリアフリー化や案内表示等のユニバーサルデザイン化のため、カウンター周辺の見直しを行います。 ・大宮図書館の建替え移転に向けて準備を行います。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>岩槻図書館の大規模修繕工事や北浦和図書館、東浦和図書館、三橋分館の中規模修繕工事を行いました。これらの工事では、空調機器の交換、照明器具をLEDに替えることによる省電力化や、点字ブロックの延伸やトイレの洋式化などを行いました。</p> <p>大宮図書館の建て替え移転の準備では、大宮区役所等の複合施設の図書館部分について、設備やセキュリティ、サイン、維持管理などの打ち合わせを行いました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑳	持続的で安定した図書館の運営	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスの向上を図るため、専門部会を開催し、図書館サービスについて調査研究を行い、問題点や課題を整理し、計画的で円滑な運営を行います。 ・検証、評価等の調査を行い図書館ネットワークを安定して運営します。 ・広告料収入等、財源確保や経費節減につながる取組を行います。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
業務マニュアルの整備・見直し	実施	実施	a
財源確保や経費節減につながる取組	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「業務マニュアルの整備・見直し」では、中央図書館、拠点図書館、専門部会で見直しを行い、『団体貸出マニュアル』の改訂、『さいたま市図書館ポスター等設置基準』等を整備しました。</p> <p>「財源確保や経費節減につながる取組」のうち、財源確保については、パンフレットラック（9館）、広告付マット（1館）、図書館ホームページバナー広告（3社）により財源を得ました。</p> <p>また、経費節減のため、雑誌スポンサー事業（3館）を実施しました。</p>
--

さいたま市図書館評価票（平成29年度）

【目標】⑳	危機管理体制の強化	【総合評価】	A
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「図書館危機管理対応マニュアル」を基に、危機管理体制を整備し、市民の安全を守ります。 ・消防計画による消防訓練や防災訓練等を実施します。 ・職員の危機意識を高めるため、情報セキュリティやコンプライアンスに関する研修を実施します。 			

指 標	平成29年度の目標値	平成29年度の実績	指標別評価
職員の危機管理意識を高める取組	実施	実施	a

<p>【評価の説明】</p> <p>「職員の危機管理意識を高める取組」として、応急手当講習（AED操作訓練を含む）を実施しました。各図書館で消防訓練を実施し、複合施設の場合は施設全体の訓練に参加しました。また、各館で職員・スタッフによる館内巡回を実施し、利用者の安全確保に努めました。</p> <p>各拠点館ごとにコンプライアンス研修や情報セキュリティ研修を行って職員の危機管理意識を高め、職場内におけるコンプライアンス遵守を推進しました。</p>
--

参考資料

図書館法・図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(1) 図書館法 (昭和二十五年四月三十日法律第百十八号)

最終改正：平成二三年一二月一四日法律第一二二号

(運営の状況に関する評価等)

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(2) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成 24 年 12 月 19 日 文部科学省告示第 172 号)

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の 2 の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

さいたま市図書館の運営状況に関する評価実施要項

(目的)

第1条 この要項は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3の規定に基づき実施する、さいたま市図書館（以下「図書館」という。）の運営状況に関する評価（以下「評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(評価の対象)

第2条 評価は、図書館の運営状況について、毎年度行うものとする。

(目標、指標及び目標値)

第3条 評価にあたっての目標は、別表第1に定めるとおりとする。

2 目標ごとの指標及び指標ごとの目標値は、図書館に設置される図書館評価専門部会が検討し、中央図書館長が定める。

(評価者)

第4条 評価にあたっては、図書館評価専門部会が、指標の達成状況を点検するとともに、さいたま市図書館協議会の意見を聴取した上で、評価案を作成し、中央図書館長が決定する。

(評価及び評価の段階)

第5条 目標ごとに各指標の達成状況について指標別評価を行い、その結果を評点として数値化し、評点の平均により当該目標の総合評価を行う。

2 評価の段階は、4段階とし、段階ごとの評価基準は、別表第2に定めるとおりとする。

(評価票)

第6条 評価の内容及び結果を記録する評価票の様式は、様式第1号に定めるとおりとする。

(評価結果の公表)

第7条 図書館は、評価の結果をホームページ等を活用して、市民に公表するものとする。

(評価結果の活用)

第8条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第9条 評価に関する庶務は、中央図書館資料サービス課において処理する。

(委任)

第10条 この要項に定めるもののほか、この要項の施行に関し必要な事項は、中央図書館長が別に定める。

附 則

この要項は、平成24年11月5日から施行する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

目標
図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化
幅広く計画的な資料の収集・保存
地域の歴史と文化の保存
ICT（情報通信技術）を活用したサービスの充実
文化事業の開催
あらゆる世代に向けたサービスの充実
レファレンスサービスの充実
地域の課題解決
生活支援サービスの展開
バリアフリーサービスの充実
多文化サービスの充実
子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携
図書館評価と市民意識の反映
市民との協働
関連機関（公共機関・民間機関・NPO）との連携
地域の特色を生かした運営
親しみやすい図書館づくり
職員の資質・能力の向上
専門的職員の配置
施設・設備の充実
持続的で安定した図書館の運営
危機管理体制の強化

別表第2（第5条関係）

指標別評価	評価基準	目標達成率	評点
a	目標値を達成できた	目標値の100%以上	3
b	目標値をほぼ達成できた	目標値の80%以上100%未満	2
c	目標値をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満	1
d	目標値を達成できなかった	目標値の50%未満	0

総合評価	評価基準	評点の平均
A	目標を達成できた	2.7以上
B	目標をほぼ達成できた	2.0以上2.7未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0以上2.0未満
D	目標を達成できなかった	1.0未満

さいたま市図書館評価票（平成 年度）

【目標】		【総合評価】	
【取組内容】			

指 標	平成 年度の目標値	平成 年度の実績	指標別 評価

【評価の説明】

さいたま市図書館ビジョン

さいたま市の図書館が、今後、取り組むべきサービスの目標や指針、管理運営などの基本方針を「さいたま市図書館ビジョン」として平成25年3月に策定しました。

図書館ビジョンでは、さいたま市の図書館を「地域の知の拠点」として位置づけ、その役割を果たしていくため、

知的好奇心に応える図書館

生きる力を支える図書館

市民とともに歩む図書館

誰もが安心して使える図書館

の4つの目標を掲げており、これらを実現していくための22の基本方針を定め、総合振興計画の実施期間に合わせて、この基本方針を達成するための取組を平成25年度から平成32年度までの8年間実施してまいります。

■ さいたま市図書館ビジョン ■

1 知的好奇心に応える図書館

生涯学習と情報発信の拠点として市民ニーズに応える資料を収集・保存し、さらに情報化に対応したサービスを提供して市民の知的活動を支援します。

2 生きる力を支える図書館

誰もが利用しやすいサービスをすすめ、市民が自ら必要な知識・情報・スキルの獲得ができる環境を整備します。

3 市民とともに歩む図書館

図書館運営の現状と課題を市民と共有し、市内で活躍する豊富な人材と連携・協働することにより、地域の特色を生かした運営をします。

4 誰もが安心して使える図書館

さいたま市図書館ネットワークを活用したサービスを展開するとともに、市民の要求に的確に応えるため、図書館職員の資質・能力の向上を図ります。市民の誰もが安全安心に利用できるよう、施設・設備の充実に努めます。

さいたま市図書館ビジョンに基づく取組内容(平成 29 年度)

1 知的好奇心に応える図書館

(1) 図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化

- 図書館の利用促進のために、報道機関への資料提供を有効的に活用しPRに努めます。
- ホームページやメールマガジン等を活用し、図書館サービスについて情報を発信します。
- 図書館を利用したことのない人々に対するPR手段を検討します。

(2) 幅広く計画的な資料の収集・保存

- 市民のニーズに応えるため、計画的に資料を収集・保存し、幅広い蔵書を整備、維持するとともに選定方法の検討を行います。
- 資料を有効活用するため、分担保存の現況調査を行います。
- 電子書籍を充実させ、利用の促進を図ります。

(3) 地域の歴史と文化の保存

- 県立図書館や県内市町村立図書館と連携し、地域資料及び行政資料を積極的に収集・保存し、提供します。
- デジタル化する資料を選定し、著作権処理を経てデジタル化した資料をインターネットで公開します。
- アーカイブズセンターや関連部署が推進している、歴史・文化資源アーカイブ化事業と連携します。

(4) ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実

- 利用者自身が迅速に貸出手続を行えるよう、自動貸出機を新たに2館に導入します。
- 来館しなくても利用できるサービスである電子書籍やデータベース等の利用促進を図ります。

(5) 文化事業の開催

- 市民の文化活動・読書活動を支援するため、様々な事業を開催します。また、アンケート等を実施し、ニーズを把握するとともに、市民のアイデアを生かした事業を企画・開催します。
- 中央図書館10周年、東浦和図書館20周年、大宮西部図書館30周年の開館を記念した事業を行います。

2 生きる力を支える図書館

(6) あらゆる世代に向けたサービスの充実

- 研修を制度化し、テーマ資料展示の内容と実施回数を充実をさせるとともに、読書に関する催し物等を実施し、本に親しむ機会を提供します。
- 乳幼児から高齢者まで、本を通して人々が交流する機会を提供し、5館に拡大します。
- あらゆる世代・対象に向けたサービスとして、子どもへの読み聞かせリストを作成・配布します。

(7)レファレンスサービスの充実

- 国立国会図書館や公立図書館、大学図書館、専門機関と連携し、相互貸借や様々なレファレンスや高度な調査・相談に対応するとともに、課題を解決する手がかりになるよう、レファレンス事例を登録し、公開します。
- 国立国会図書館の「歴史的音源」サービスの導入のため、環境を整備し申請を行います。
- 各館でパスファインダーやブックリストを作成して情報を共有するとともに、ホームページに掲載し、随時更新していきます。

(8)地域の課題解決

- 都市計画や地域の産業等、地域の特性により必要とされる資料を収集し、提供します。
- 行政事務・業務に必要とされる資料や情報を提供する行政支援サービスを行うとともに、周知方法を検討します。

(9)生活支援サービスの展開

- 日常生活の中での様々な課題に関するテーマ資料展示を実施し、ブックリストの作成・配布を行うとともに、ホームページに展示情報を掲載します。
- ビジネス、法律、医療、健康、福祉及び子育てに関する情報の提供等、市民の暮らしに直接関わる分野の情報提供に努め、それぞれの分野の専門機関との連携・協働を行います。

(10)バリアフリーサービスの充実

- 図書館の利用に障害がある方へ配慮した、資料や機器・機材の整備充実に努めます。
- 大活字本や字幕入り・手話入りの映像資料等の所蔵リストや利用に関する情報を、障害のある方にも利用しやすいようにホームページ等で提供します。
- 関係機関・団体と連携し、録音図書や点字図書・点訳絵本の作製・貸出、対面朗読等を実施します。
- バリアフリーサービスに関する研修・講座を企画・開催するとともに外部の研修にも参加するなどして、資質・能力の向上を図ります。
- 宅配サービスの充実のため、来館が困難な方の利用のニーズや他自治体の事例を調査します。

(11)多文化サービスの充実

- 様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、市内在留外国人や訪日外国人のニーズを考慮した外国語資料の収集・提供に努めます。
- 外国語絵本等の展示や、多言語でのおはなし会等、在留外国人・ボランティアや関連機関と連携・協働した事業を実施するとともに、市民が様々な言語にふれる機会を拡大します。
- カウンター周辺のサイン・案内表示を、日本語の漢字ひらがな併記と多言語で表記し、日本語を母語としない方々にもわかりやすい表示にします。【新規】

(12)子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携

- 「さいたま市子ども読書活動推進計画(第三次)」に基づき、各図書館で子どもが読書に親しめる環境づくりを進め、「不読者」の割合を減らす取組を行います。
- 中高生を対象にした図書館ボランティア体験プログラムやイベント・展示の実施を拡大します。
- 読み聞かせボランティアを対象に、ブックリストの作成やスキルアップ講座の開催等の支援を行います。

- 保育施設や学校を対象に、おはなし会や図書館オリエンテーション、移動図書館利用体験を実施するなど連携事業を促進します。
- 「子どもといっしょに読書タイム」を提唱し、家庭での読書の大切さを伝える講座や展示、イベントを実施します。
- ICTを活用し、学校図書館と情報を共有するとともに、学校図書館支援センターを中心に、教科関連図書の収集・貸出・レファレンス・情報提供を促進します。

3 市民とともに歩む図書館

(13) 図書館評価と市民意識の反映

- 図書館の運営状況及びサービスについて、図書館ビジョンに基づいた指標により評価し、その結果を市民に公表します。
- 図書館サービスの充実・向上を図るため、図書館の利用に関するアンケートを実施し、結果は公表して意見を運営に反映させます。
- 図書館協議会を開催して市民の意見を聴き、図書館サービスを向上させます。

(14) 市民との協働

- 図書館で活動するボランティアを支援するとともに、ボランティア・地域団体と連携した事業を実施します。また、地域で開催される催し物等に積極的に参加します。

(15) 関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携

- 教育機関や文化・福祉施設、民間機関・NPOなど、様々な機関との連携事業を実施します。
- 中学生、高校生、大学生、教員等の職場体験・図書館実習を積極的に受け入れます。

(16) 地域の特色を生かした運営

- サッカー、鉄道、盆栽、人形等の地域の歴史・特色に関連した資料の収集・保存を行うため、書架レイアウト等の現況調査を実施します。
- 地域の歴史・特色に関連した資料のブックリスト等を作成・配布し、情報提供を行います。
- 展示コーナーの設置、イベントの開催などをJリーグクラブチームとの連携・協働・協力により行います。

4 誰もが安心して使える図書館

(17) 親しみやすい図書館づくり

- 利用者への挨拶や、わかりやすく丁寧な対応で、明るく親しみやすい窓口づくりに努めます。
- 接遇研修を実施するとともに接遇に関する外部研修にも参加します。
- 図書館の利用に関するアンケートを実施し、誰もが気持ちよく利用できる環境づくりに役立ちます。

(18) 職員の資質・能力の向上

- 資料や情報を的確に提供する技術を高めるため、組織内で計画的に研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。
- 他局等で行なわれる研修や、国や県等の外部組織で主催される研修に積極的に職員を派遣します。

(19) 専門的職員の配置

- 職員は専門性を生かし、資料・情報の提供及び紹介等を通じて、市民の高度で多様な要求に適切に応えます。
- 専門性の向上につながる研修を受講するとともに、学校の授業や公民館・コミュニティ施設等において講師等を務めます。

(20) 施設・設備の充実

- 「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、図書館施設の改修工事を実施します。
- 施設・設備のバリアフリー化や案内表示等のユニバーサルデザイン化のため、カウンター周辺の見直しを行います。
- 大宮図書館の建替え移転に向けて準備を行います。

(21) 持続的で安定した図書館の運営

- 図書館サービスの向上を図るため、専門部会を開催し、図書館サービスについて調査研究を行い、問題点や課題を整理し、計画的で円滑な運営を行います。
- 検証、評価等の調査を行い図書館ネットワークを安定して運営します。
- 広告料収入等、財源確保や経費節減につながる取組を行います。

(22) 危機管理体制の強化

- 「図書館危機管理対応マニュアル」を基に、危機管理体制を整備し、市民の安全を守ります。
- 消防計画による消防訓練や防災訓練等を実施します。
- 職員の危機意識を高めるため、情報セキュリティやコンプライアンスに関する研修を実施します。

平成30年度 さいたま市図書館評価 報告書

(平成29年度事業対象)

平成30年11月

さいたま市立中央図書館

〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町11-1 (コムナーレ8階)

電話048-871-2100